



【学校教育目標】

自ら考え学習する生徒（自主）
心身ともに健康な生徒（剛健）
情操豊かな生徒（敬愛）

栃木市立寺尾中学校

校長 入野 伸行

学校づくりスローガン『だれ一人欠けてはならない大切な仲間 寺中丸』

「継続は力なり」「信は力なり」 ～三峯祭に向けての取組から～

夏休み明けの生徒の和太鼓と演劇の練習を見ました。初めて和太鼓の演奏をする生徒の不安な様子、演劇の台本を手に緊張してたどたどしく読む姿。和太鼓の演奏は 3 曲、長い時間振付をしながら太鼓をたたくこととなります。演劇もセリフを覚えるだけでなく周りの人の動きに合わせて大きな声で演じることとなります。その後、練習計画に従って、昼休みや放課後の時間等を使って練習を重ねてきました。夏休み中から始まった練習も 10 月半ばを過ぎると生徒の姿が一変しました。和太鼓をたくましくたたく生徒の姿、役に合わせて堂々と演技する生徒の姿がありました。あきらめずコツコツと練習を積み重ねてきた結果（「継続は力なり」）、自分はできると信じるとともに君ならできると信じ励まし続けた結果（「信は力なり」）を感じました。日々の学校生活においても、“自分なり”に小さなことを継続して積み重ねていくことが、大きな成長につながります。そのためには周りにいる大人が成長を信じて、待って、励まし、見届けることが大切だと思います。今後、生徒達がさらに成長していくのが楽しみです。

全力に悔いなし！ 一人一人の力を結集 ～寺尾中最後の三峯祭～

10月25日（土）に、たくさんのご来賓の方々、保護者の皆様にご来校いただき、寺尾中学校最後の三峯祭を開催しました。「未来へ翔け！みんなで彩る 最後の舞台 ～寺尾に笑顔と感動を～」のスローガンのもと、生徒と教職員が「最後の」という思いを胸に秘めつつ、先輩たちが繋いできた伝統のバトンをしっかり最後まで繋ぎ切る。そして笑顔で未来に向かっていく。」という気持ちでベクトルを合わせて練習に取り組み当日を迎えました。当日一人一人見せてくれた真剣な表情、終わった後のほっとした笑顔に、これまで練習を重ねてきた充実感、達成感を感じられる三峯祭になりました。一人一人が自分の“強み”を生かして自分の持てる力を発揮し、時には互いに助け合いながら創り上げた三峯祭でした。ご来場いただいた皆様ありがとうございました。



伝統とともに ～下都賀地区英語スピーチコンテストのスピーチ内容紹介(日本語訳)～

10月16日(木)岩舟文化会館で行われた下地区英語スピーチコンテスト及び三峯祭で発表した3年生●●●●さんのスピーチ(日本語版)を掲載します。本校閉校の年、その内容に心打たれました。

私たちの学校は今年度で閉校します。私たちの学校には長い歴史とたくさんの伝統があります。私の祖父や母もこの学校の卒業生です。だから、この学校は私の家族にとっても、私にとってもとても大切な場所です。私は今、母校である寺尾中がなくなってしまうという悲しさや寂しさを抱えて日々過ごしています。私たちの学校の伝統の一つに、竹を使った太鼓の演奏、「三峯太鼓」というものがあります。それは先輩たちから学びます。毎年、運動会や寺尾地区の夏祭りで、全校生徒が保護者や地域の人に向けて演奏を披露します。今年度は、閉校行事で最後の演奏をする予定です。三峯太鼓の演奏は、力強く、見ていてわくわくするもので、寺尾中の精神を表しています。演奏をしていると、みんなの心が一つになり、一体感が生まれます。私はその感覚が大好きで、この演奏を誇らしく思っています。私たちは今、リレーのように、79年の歴史のバトンを手し、ゴールテープを切ろうとしています。このバトン―伝統―にはどのような意味があるのでしょうか。私は伝統とは過去の多くの生徒たちの思いでできた「結晶」のようなものだと思います。先輩たちはいつもこの伝統を後輩たちに大切に伝えてきました。後輩たちは先輩の思いを尊重し、この伝統を受け継ぎました。こうして、私たちの学校の精神は長い間、受け継がれてきたのです。現代では、多くの人がSNSを使い、人と人のつながりが希薄になってきています。でも私は、中学生生活を通して、伝統を受け継ぐことで、人の心がつながることを学びました。古くさいと思う人もいるかもしれませんが、伝統こそ現代の希薄になった人と心をつなぐものだと信じています。伝統をなくしてはいけません。学校が閉校してしまうと、私たちの学校の伝統が受け継がれるのは難しいかもしれません。しかし、その精神は生き続けます。私たちの周りには多くの素晴らしい伝統がまだあります。私はこれからも伝統を大切に、そして伝統とともに歩んでいきたいと思います。

自分の可能性を信じて ～アスリート(ソフトボール日本代表坂井寛子さん)の授業～

10月29日(水)3・4時間目に、スポーツ庁委託事業としてソフトボールの北京オリンピック金メダリスト坂井寛子様を講師として全学年合同で体育の授業を行いました。自身の経験を交えながら、「やってみなければわからない。できるができないかはわからないが、やるかやらないかは自分で決められる。人と比べずに自分なりのチャレンジをすること、あきらめずに努力することが大切。若い皆さんの可能性はたくさんある。」と話してくださいました。そして、校庭に出てキャッチボールをした後、生徒全員で試合をしました。ピッチャーは坂井さんです。金メダリストの投手と一緒に試合をして夢のような時間でした。



ありがとう寺尾中学校 ～11月9日(日)寺尾中学校閉校記念イベント開催～

11月9日(日)に本校PTA本部役員を中心とした寺尾中学校閉校記念実行委員会主催の閉校イベントが行われました。PTA本部役員様のご尽力、保護者の皆様、地域の皆様の多大なるご支援のもと盛大に開催することができました。ご協力いただいた関係者の皆様、当日ご来場いただいた皆様、心より感謝申し上げます。当日はもとより、本イベントの実施に向けての計画準備の中で、改めて寺尾地域のエネルギーと絆の強さを感じました。中学校は今年度で閉校となりますが、寺尾地域の絆はこれからも次の世代に繋がっていくと思います。ありがとうございました。



※学校HPに寺尾中学校「最後の一年」の学校の様子を随時掲載しています。また、寺尾中学校閉校までの学校や生徒の様子、地域との関わり等をとちぎケーブルテレビ様が随時来校してインタビューを交えながら撮影しています。撮影した内容をもとに番組を作成する予定です。